

企画県土警察常任委員会資料

(平成21年6月25日)

【その他の報告事項】

- 1 「日本のまつり・2009鳥取」100日前記念イベント等
について 【文化政策課】・・・1ページ
- 2 鳥取・岡山広域観光協議会の設立について
【観光政策課】・・・2ページ
- 3 山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟に
向けた申請について 【観光政策課】・・・3ページ

文化観光局

「日本のまつり・2009鳥取」100日前記念イベント等について

平成21年6月25日
文化政策課

「日本のまつり・2009鳥取」開催の機運を盛り上げるため、100日前記念イベント及びキャラバンを実施します。

1 100日前記念イベントの開催

- (1) 日時 平成21年7月5日(日) 午後1時～午後4時
- (2) 場所 とりぎん文化会館フリースペース
- (3) 内容
 - オープニングセレモニー(13:00～13:20)
 - こどもたちによる地域伝統芸能公演(13:20～14:20)
 - 因幡麒麟獅子舞(中ノ郷ふるさとくらぶ)
 - 因幡の傘踊り(国府東小学校)
 - 和太鼓・「新八犬伝」(打吹童子ばやし)
 - 淀江さんこ節(宇田川青少年育成会)
 - よさこい踊り(14:35～14:50)
 - チーム満天星(智頭町)
 - ガイナレ鳥取スペシャルトークショー(14:50～15:20)
 - ロケットくれよんコンサート(15:20～16:00)

2 キャラバンの実施

「日本のまつり・2009鳥取」のマスコットキャラクター「お祭りトリピー」によるキャラバン隊が小学校を訪問し、伝統芸能の紹介と「日本のまつり・2009鳥取」のPRを行う。

- (1) 日程等
 - ア 出発式 平成21年7月2日(木) 午前11時20分 県庁ロビー
 - イ 訪問校 キャラバン隊の訪問を希望する小学校(10校程度)
- (2) 訪問者
お祭りトリピー(着ぐるみ)、日本のまつり・2009鳥取地方実行委員会

<参考:「日本のまつり・2009鳥取」の概要>

開催期間:平成21年10月10日(土)～11日(日) ※10月9日(金) 前夜祭

主催:鳥取県、鳥取市、財団法人伝統芸能活用センター

会場	内容
とりぎん文化会館	高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等表彰式 県内外、海外の地域伝統芸能の公演 地域伝統工芸展、観光物産展
コカ・コーラ ウェストスポーツパーク	県内外、海外の地域伝統芸能の公演、地域伝統芸能体験教室
駅前風紋広場	総合案内、公募型県民ステージ
若桜街道	前夜祭パレード、おまつりパレード、フィナーレパレード

鳥取・岡山広域観光協議会の設立について

平成21年6月25日

観光政策課

平成21年5月23日、岡山県真庭市において開催された岡山・鳥取両県知事会議を受け、両県が連携して各種観光事業を推進し、国内外から両県への観光客誘致を図るため、両県及び両県の観光連盟を構成団体とする「鳥取・岡山広域観光協議会」を以下のとおり設立します。

1 設立予定日

平成21年6月29日（月）

2 構成団体

鳥取県、岡山県、社団法人鳥取県観光連盟、社団法人岡山県観光連盟

*今後、事業計画の内容等により他の関係団体の参画を求める。

3 役員（平成21年度）（予定）

会長 鳥取県文化観光局長

副会長 岡山県産業労働部審議監

監事 社団法人鳥取県観光連盟専務理事

監事 社団法人岡山県観光連盟専務理事

*事務局は、両県が1年ごとに担当し、初年度は鳥取県文化観光局観光政策課が担当。

4 事業計画（案）

- (1) 両県の観光宣伝をするパンフレットの作成
- (2) 両県の共通した観光資源を活かした魅力ある観光ルートの旅行会社への提案
- (3) 岡山・鳥取・米子空港を活用した台湾プログラムチャーター便の共同誘致
- (4) 香港の旅行会社訪問の共同実施
- (5) 両県共同のキャンペーンの実施に向けた検討

5 事業費

200万円（各県100万円負担）

山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟に向けた申請について

平成21年6月25日
観光政策課

山陰海岸ジオパーク推進協議会（会長：豊岡市長）が、平成21年6月18日（木）に世界ジオパークネットワークへの申請地域を決定する日本ジオパーク委員会へ申請書を提出しました。

1 申請書の概要

(1) ジオパークテーマ

「日本海形成に伴う多様な地形・地質・風土と人々の暮らし」
*アジア大陸の時代から現在の地形までを地質年代毎に5テーマに分類

(2) 地形・地質学的特徴

- ① 日本海形成に関わる多様な火成岩・堆積岩層の分布とそれらの岩石海岸での露出
- ② 日本海沿岸の多様な海岸地形
- ③ 日本海形成後も引き続き火成活動による火山噴出物・火山地形
- ④ 第四紀における地磁気逆転期の発見サイト（玄武洞玄武岩）
- ⑤ 火成活動の影響を受けた豊富な温泉資源
- ⑥ 日本海沿岸で生じる第四紀地殻変動を示す活断層・海岸段丘

(3) 自然背景と人との関わりに関する特徴

- ① 日本海特有の水産物・景観、降雪・温泉などを活用した観光拠点としての位置づけ
- ② 鳥取砂丘の景観を維持するための草原化防止への取り組み
- ③ 地震災害とその復興（1925年北但馬地震・1927年北丹後地震・1943年鳥取地震）
- ④ 豊富な温泉資源の活用 など

2 世界ジオパークネットワーク加盟に向けた今後のスケジュール

時 期	項 目
7月上旬	第1回日本ジオパーク委員会開催 (申請地域によるプレゼンテーション実施) (申請地域) 山陰海岸地域(京都府・兵庫県・鳥取県)、アポイ岳地域 (北海道)、南アルプス地域(長野県・静岡県・山梨県)、 室戸地域(高知県) 計4地域申請予定
7月上旬～9月下旬	日本ジオパーク委員会による申請地域現地調査
9月下旬	第2回日本ジオパーク委員会開催 (世界ジオパークネットワーク申請地域決定→最大2地域)
12月下旬	世界ジオパークネットワークに申請書提出
12月～翌年10月頃	世界ジオパークネットワーク審査員による現地調査
翌年10月頃	世界ジオパークネットワーク審査結果発表

(参 考)

1 山陰海岸ジオパークの対象エリア

山陰海岸ジオパークは、山陰海岸国立公園を中心に、東は京丹後市の経ヶ岬から西は鳥取市の白兔海岸までの東西約110km、南北最大30kmのエリア。当エリアをさらに13のジオエリアに細分化し、鳥取県内では「鳥取砂丘ジオエリア」、「浦富海岸ジオエリア」、「扇ノ山ジオエリア」の3つのジオエリアがある。

2 日本ジオパーク委員会の概要（平成20年5月28日設立）

委員長：尾池 国際高等研究所所長

事務局：独立行政法人産業技術総合研究所地質調査情報センター

役割：世界ジオパークネットワーク申請地域の選定、及び同ネットワークへの推薦

構成メンバー：学術関係者11人で構成し、国の関係省庁がオブザーバー参加